

理学療法部門



仕事内容

- 病気・怪我等の急性期のリスク管理を行いながら回復に向けて身体機能・動作能力改善の支援を行います。
- また生活復帰にむけて家屋調査や外来通院でのリハビリ、介護保険サービスへの調整等も行います。

部門の特色

- スタッフが多く臨床業務の不安に手厚くサポートします。
- 個人の学びを尊重しサポートします。
- 生活スタイルにあわせ勤務の調整を行えます。

～業務詳細～

- 当院では基本的にはチーム制をとらず、患者担当制にて運動器・中枢・内部障害を含む、全ての疾患を対象に患者様への介入を行っています。
- 一部、より専門的な知識・技術を要する疾患については個別にチーム活動を行っていますが、教育研修にてそれらの疾患についても経験します。

PT

生活に寄り添うことができるセラピストへ

臨床の特徴

- 超急性期～生活期まで対応
- 様々な診療科の幅広い疾患
- 専門性の高い分野での班活動
 - HCU・心リハ など



教育体制

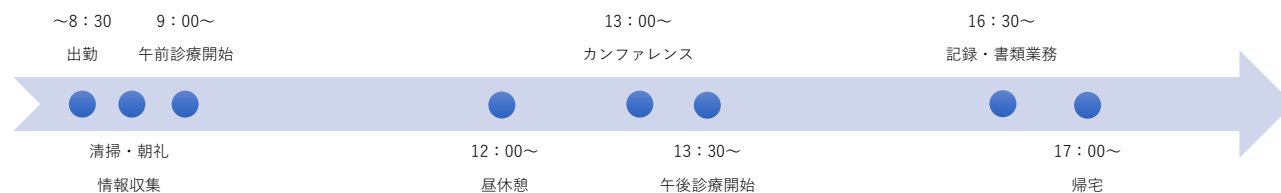
- 実習教育からの連続した教育体制
- 2年目も継続的な臨床サポート
- ミドルキャリアまでの教育計画
 - 専門班ジョブローテーション



新人PT の一日



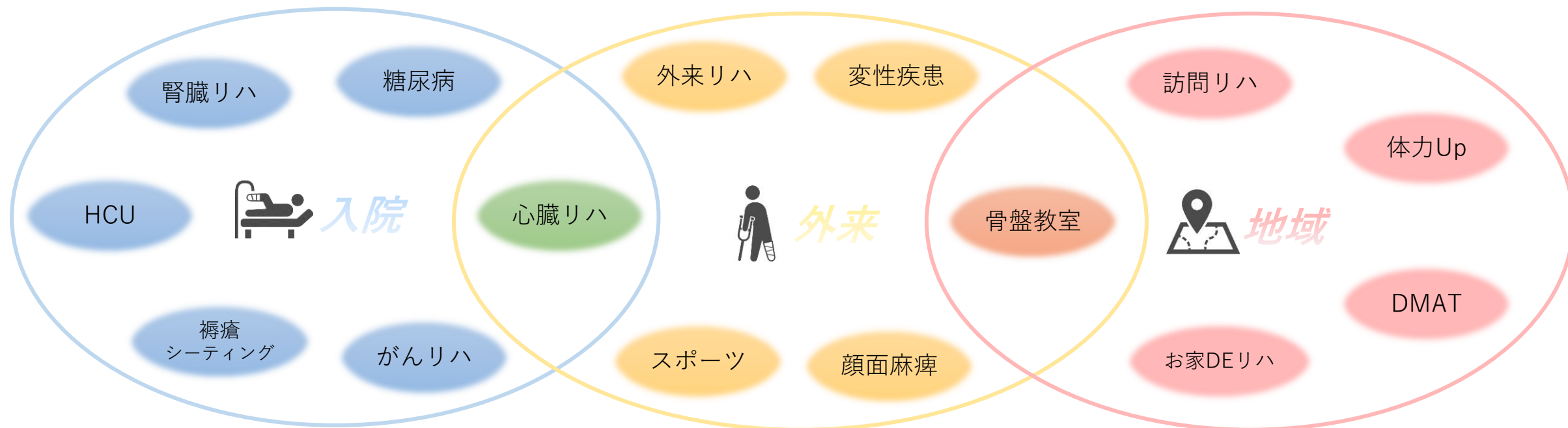
先輩PT の一日



先輩からの声

- 教育体制がしっかりしている
- 職種間のコミュニケーションが取りやすい
- 休みが取りやすい
- 急性期から生活期まで診ることができる

急性期治療から生活復帰 そして地域貢献まで 幅広く関わります



多様な経験を通しジェネラリストを育成します

- 患者担当制により疾患に縛られず多様な疾患を担当します。
- また専門班活動にてより高度に疾患への理解を深めます。

キャリア形成をサポートします

- ジョブローテーション制度にて経験豊富なスタッフからより専門的な知識を学べます。
- 登録理学療法士取得にむけた体制が整備済みです。
- 各種資格取得を積極的に支援します。

自由な学びをサポートします

- 有志による小グループでの勉強会を行っています。
- ライフスタイルにあわせて実施時間を調整します。
- 希望にあわせた研修参加や発表を支援します。

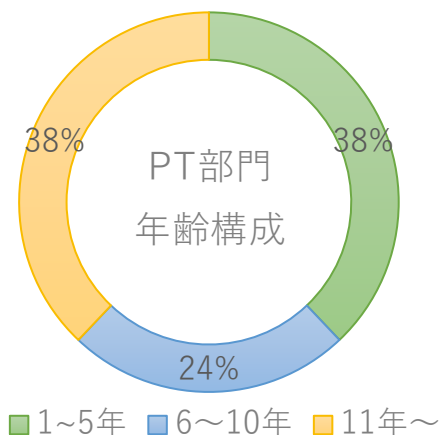
* PT内取得資格

心臓リハビリテーション指導士、心不全療養指導士、
離床インストラクター、集中治療理学療法士、3学会
合同呼吸療法認定士、日本糖尿病療養指導士、認定訪
問療法士等

働きやすい職場環境作りに取り組んでいます

多様な年代が協働しています

- 多様な経験のある先輩が業務のサポートを行います。
- ライフスタイルにあわせた勤務スケジュールを調整できます。
- 自身や家族の急な不調でも対応可能な体制を整備しています。



スタッフの健康管理に取り組んでいます

- スタッフに対し腰痛予防活動を行っています。
- 役職者がメンタルヘルス関連の資格を有しています。

腰痛予防 勉強会

腰痛有無別結果（データ抜粋・傾向・推察）

内臓系		
股関節つり	あり	なし
腰痛あり	2	12
腰痛なし	7	33

腸管と起き上がり						
試行回数	1回	2回	3回	4回	5回	不可
腰痛あり	6	4	2	1	0	1
腰痛なし	22	11	3	1	0	3

片膝抱え肘を下り下通		SLR		立位前屈	
膝後頭左右平均(cm)		自動左右平均(°)		他動左右平均(°)	
				両上肢屈曲(°)	
				FTD(mm)	
腰痛あり	腰痛なし	腰痛あり	腰痛なし	腰痛あり	腰痛なし
腰痛あり	腰痛なし	腰痛あり	腰痛なし	腰痛あり	腰痛なし
平均値	4.6 5.0	69.3 68.1	76.4 75.4	75.4 34.0	40.2 0.0
中央値	5.0 5.0	70.0 70.0	76.3 75.0	35.0	41.0 4.5

腰痛を発症しているにもかかわらず柔軟性が保たれていることもある。ただ腰痛神経痛方向への運動は低下する可能性がある。

腰痛）腰痛が発症しているメカニズムが多用であり一概に機能が良ければ予防できるといったものではないと考えられる。